



1/22 小牧を疾走！



第33回小牧シティマラソン大会が行われました。

今回の大会には、2,243人がエントリーし、10km [一般(高校生以上～39歳以下) 男子・女子、40歳代男子・女子、50歳代男子、50歳以上女子、60歳以上男子]、5km [一般(高校生以上) 男子・女子、中学生男子・女子]、2km (ジョギング) に分かれ、日頃の練習の成果を競うとともに、親子で参加するランナーも多くみられました。

1/24 小牧のおいしさ、再発見



市内小中学校(全25校)で、小牧にゆかりがある食材を使った給食が提供されました。

食を通じて、全国的に有名な名古屋コーチンが小牧発祥であることを知ってもらうことや、市内でどのような食材が作られているか、またそのおいしさを知り、地産地消の大切さを感じてもらう「食育」につなげるため実施しました。

1/22 つながろう、世界の国の人たちと



小牧市国際交流協会(KIA)による「国際交流ふれあいフェスタ」が行われ、約300人が参加しました。

今年は、3年ぶりに国際屋台が出店され、参加者はコロナ対策を十分にとった飲食スペースで、各国の料理を楽しんでいました。

また、ステージでは、ウズベキスタン舞踊やフィリピンダンス、ハンドベルなどが行われ、ロビーでは、着物や甲冑の試着、お茶席体験などが催されました。

1/25 青少年の健やかな成長を願って



「家庭の日」市民運動における一斉啓発活動が行われ、市民会議役員・少年センター補導員・小牧警察署少年補導委員および篠岡・桃陵・光ヶ丘中学校の生徒ら約70名が参加しました。

これは、2月に「家庭の日」県民運動強調月間を迎えるのに先立ち、小牧市青少年健全育成市民会議により実施されたもので、将来の担い手となる青少年が、心身ともに健やかに成長することを願い、豊かな人間性を育てるため、市民総ぐるみのさまざまな運動の一つとして行われたものです。